

SIR KIM DARROCH

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- British Ambassador to the United States (2016-2019)
- National Security Adviser to Prime Minister David Cameron (2012-2015)



キム・ダロック卿は、英国の元公務員であり、貴族院の終身貴族です。彼の外交官としてのキャリアは 40 年以上に及び、主に国家安全保障問題と欧州政策に焦点を当ててきました。

ダロック卿は最近まで、駐米英国大使を務めていました（2016～2019年）。ワシントンに着任する前は、デービッド・キャメロン首相の国家安全保障顧問（2012～2015年）を務め、イラクとシリアでのイスラム国（ISIS[®]）の台頭、ウクライナへのロシアの侵略、リビア政府崩壊などの問題を監督しました。さらに、英国とEUの政策や多国間交渉で上級職を務め、欧州連合（EU）常駐代表（2007～2011年）やトニー・ブレア首相のEU顧問（2004～2007年）を務めました。

キム・ダロック卿は、キャリアの初期には、中東担当国務大臣の私設秘書、デイトン合意交渉中のアドリア海局長、外務省の報道局長など、幅広い役職や政策専門職を務めました。

キム・ダロック卿は、2度の大使としての任務に加え、ブリュッセル、ローマ、東京を訪問しました。

1997年に聖ミカエル・聖ジョージ勲章（CMG）の勲爵士に任命され、2008年にはナイト・コマンド（KCMG）に任命された。2019年には貴族院の終身貴族に任命された。

彼は1954年にイングランド北部のダラム州サウス・スタンレー村で生まれました。ダラム大学で動物学を学び、1977年に外交官に就任しました。1978年に妻のヴァネッサと結婚しました。2人の間にはサイモンとジョージナという2人の成人した子供がいます。

Topics

- Europe
- Government
- Politics
- Security
- Strategy